

国の文化審議会の答申で20日、館山市館山の小高記念館が登録有形文化財(建造物)に登録された。館山湾にほど近い木造2階建ての旧銀行建築。上下窓を並べる洋風外観が港町の風情を彩り、国土の歴史的景観に寄与していると評価された。現在はNPO法人が地域文化発信拠点として活用しており、関係者は「さらなる地域文化振興を進めていきたい」と力を込める。(本文1面)

小高記念館は、大正初期 記念碑が建立されている。に建てられた古川銀行(現『里見節』や、『鏡ヶ浦』など、数々の支店を、後に鳩山一郎内閣 名作が生まれた。の文部政務次官を務めた小高嘉郎氏が昭和初期に現在地へ移築。1階は元営業室の洋風内装で、2階は回り廊下に和室2間が並ぶ。1階には、大正期の銀行金庫や欧州絵画も残る。

建物は移築を進めた小高氏が水産事務所として活用。戦前に興議となったことを期に政治事務所となり、戦後の衆議院議員としての活躍も支えた。

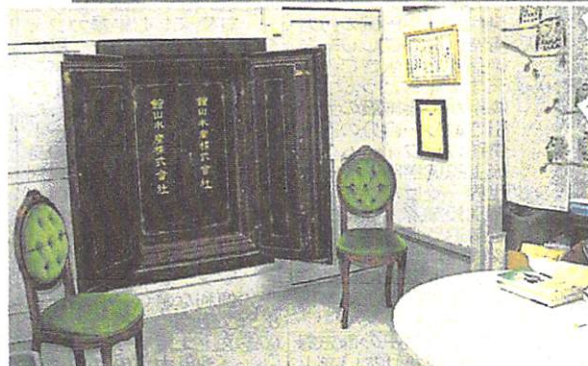
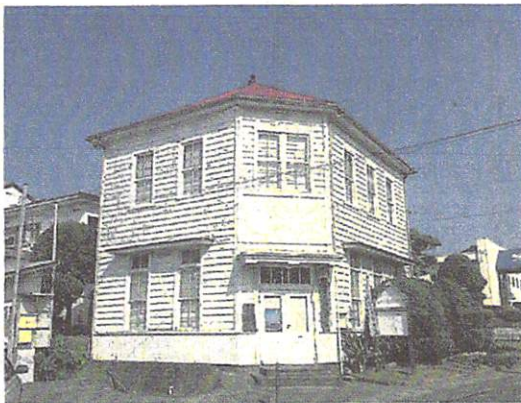
政界引退後は、小高氏がサトウハチローや白鳥省吾らと親交が深く詩人として活躍したことから、文化交流拠点となる。城山公園に

登録有形文化財

港町彩る洋風外観

館山 小高記念館
地域文化発信拠点に

国の登録有形文化財に選ばれた小高記念館
館山市館山



国の登録有形文化財に選ばれた小高記念館の1階には、大正期の銀行金庫が残っている

小高氏が1997年に亡くなり一時閉館。時を経て2006年、地域の文化遺産を保存し街づくりを進めるNPO法人安房文化遺産フォーラムが事務局として使うことになった。その際、潮風で剥がれた外壁塗装を

白く塗り直し、歴史的建造物を再生させた。同団体は戦国大名里見氏の城跡や館山海軍航空隊赤山地下壕(ごう)といった歴史・文化遺産の保存や活用を展開。そうした活動を通じて進める地域資源を大切に街づくりの拠点とつづけている。記念館は現在、潮風で再び剥がれてきた外壁塗装を塗り直している。記念館の物が登録され喜ばしい。本一般公開は特定の曜日などではなく、同団体のスタデ

白く塗り直し、歴史的建造物を再生させた。同団体は戦国大名里見氏の城跡や館山海軍航空隊赤山地下壕(ごう)といった歴史・文化遺産の保存や活用を展開。そうした活動を通じて進める地域資源を大切に街づくりの拠点とつづけている。記念館は現在、潮風で再び剥がれてきた外壁塗装を塗り直している。記念館の物が登録され喜ばしい。本一般公開は特定の曜日などではなく、同団体のスタデ

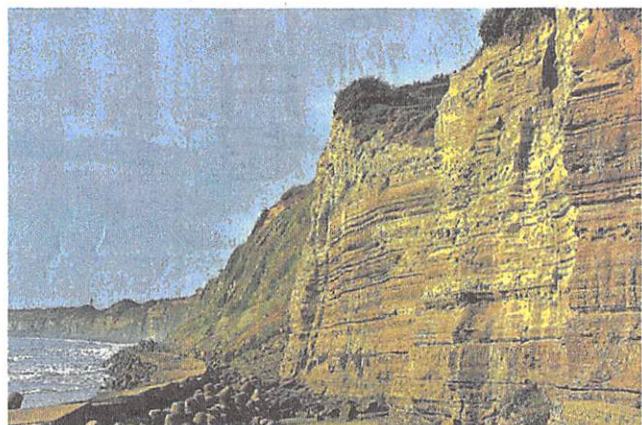
屏風ヶ浦、名勝に

銚子

文化審議会は20日、約10年にわたり海食崖の絶壁が続く屏風ヶ浦(銚子市)など2件を名勝に、戦時中に首相を務めた近衛文麿が住み、日米開戦前の重要な会議の舞台になった荻外荘(てぎがいそう)(東京都など9件を史跡に、伊平屋島の念頭平松(ねんとつひらまつ)(沖縄県)など5件を天然記念物に指定するよう馳浩文部科学相に答申した。屏風ヶ浦は天然記念物にも指定される。

また、登録有形文化財(建造物)には、小高記念館(館山市)など全国で124件が新たに登録され、計1万4922件となる。

このほか富士山などを望む景勝地で信仰の地と



国の名勝、天然記念物への指定が答申された屏風ヶ浦=銚子市

(関連記事10、11面)

近く答申通り告示され、史跡は1759件、名勝は398件、天然記念物は1021件になる。